

Press Release

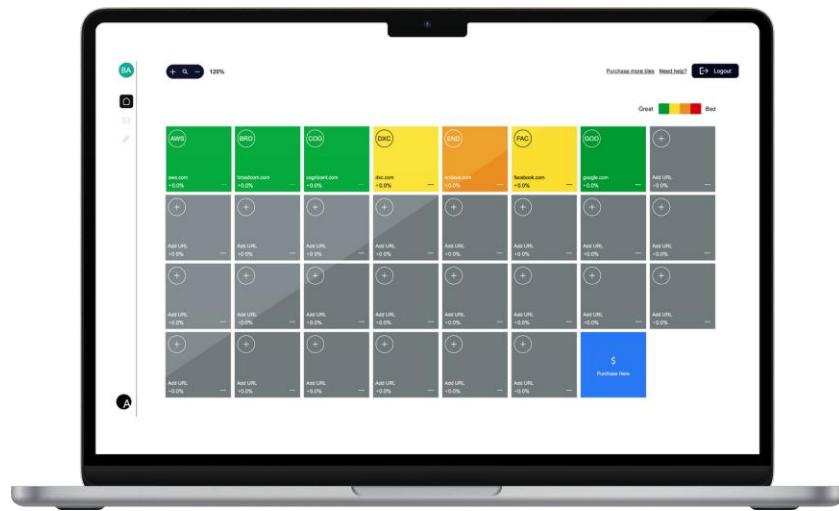
2025年12月10日

APRIO TECHNOLOGIES LIMITED

アドフラウド・サイバー攻撃・広告コンプライアンス違反をAIで一元可視化し、経営判断を支援する デジタルマーケティングリスク統合管理プラットフォーム「Trust Lens」12/10 提供開始

～ブランド毀損・広告費の無駄・法的トラブル等を未然に防ぐ“次世代のデジタルマーケティングリスク管理”を実現～

英国・欧州の金融セクターはじめとした重要インフラセクターを中心に、事業継続を脅かすサイバーセキュリティリスクの可能性と影響に関する分析サービスなどを提供する、英国ロンドン発のサイバーセキュリティ企業「APRIO TECHNOLOGIES（アブリオ・テクノロジーズ）」は、広告表現から薬機法まで“デジタル領域のリスクとコンプライアンス”を包括的に支援する株式会社 REGAL CORE（リーガルコア）と共同で、デジタルマーケティングリスクの統合管理プラットフォーム「Trust Lens（トラストレンズ）」を開発し、2025年12月10日（水）より提供を開始いたします。



■開発背景

企業のデジタルマーケティングが高度化・高速化するなか、アドフラウドによる広告費の流出、Web改ざんやフィッシングといったブランド毀損につながるサイバー攻撃、景表法・薬機法違反やステマ規制に伴う広告コンプライアンス違反のリスクなど、企業は多層化したデジタル上の脅威に直面しています。これらのリスクはマーケティング領域にとどまらず、経営判断や企業価値そのものを揺るがす経営課題へと発展しています。

しかし現状、多くの企業ではこれらのリスクがセキュリティ部門、マーケティング部門、法務部門などに分散し、情報がサイロ化しています。リスクがどこから発生し、どの程度の経済的インパクトをもたらすのかを把握できないまま、個別対応に追われているのが実態であり、このサイロ化が迅速な意思決定と積極的な戦略投資を阻む要因になっています。

こうした背景から、企業がデジタル領域のリスクを一元的に把握し、経営レベルで対策を講じられる環境が不可欠であると考え、APRIO TECHNOLOGIES のサイバーリスク・デューデリジェンスをはじめとした専門知見とサイバーリスク可視化技術、そして REGAL CORE が持つデジタルコンプライアンス領域の知見を融合した、デジタルマーケティングリスクの統合管理プラットフォーム「Trust Lens（トラストレンズ）」の開発に至りました。

■ 「Trust Lens（トラストレンズ）」概要

「Trust Lens」は、デジタルマーケティングに潜む三大リスク（アドフラウド、サイバー攻撃、広告コンプライアンス違反）を AI で一元的に可視化し、経営判断に直結させる統合型プラットフォームです。

非侵襲型技術による最短 72 時間でのリスク診断と、独自 AI による将来脅威予測を組み合わせることで、アドフラウドによる広告費の損失、Web 改ざんやフィッシングなどのサイバー攻撃、景表法・薬機法違反やステマ規制に起因する広告コンプライアンス違反のリスクを横断的に監視し、これまで部門単位で分断されていたリスク情報を一つの画面に統合します。

さらに、検知した技術データを金額インパクトとして可視化することで、従来は IT 領域に留まっていたサイバーリスクを経営戦略の判断材料へと転換し、企業が“攻めの意思決定”に踏み出すための新しいデジタルリスクマネジメントを支援します。



独自技術

非侵入型によるリスク可視化

- 非侵襲型評価で相手の業務影響ゼロ、72時間以内にリスク評価完了。
- OSINT技術により対象企業の協力不要で外部からリスクを完全に把握。
- サプライチェーン最下層まで監視可能な圧倒的優位性を発揮。



統合的なブランド防衛

顧客接点の要塞化

- サイト改ざんやフィッシング詐欺を24時間監視し、顧客の安全な訪問を維持。
- SNSや口コミを常時監視し、炎上の予兆を検知して早期対応を実現。
- AIが広告表現を自動解析し、景品表示法や薬機法違反を事前に検知・防止



実績予定

AI駆動の予測型リスク分析

- リザバーコンピューティングの世界的な権威が開発主導した高精度AI分析。
- 時系列データから将来の脅威を予測し、事後対応から事前対応へ転換。
- インシデント発生前に先手を打つプロアクティブなリスク管理を実現。

■機能詳細

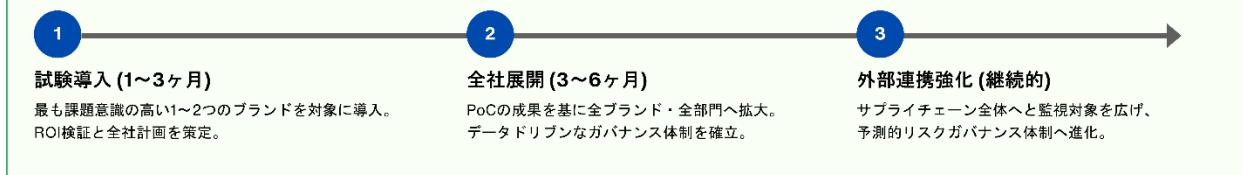
機能	検知内容	経営への直接的価値
① Ad Fraud対策 不正広告の排除	<ul style="list-style-type: none"> AIによる広告/LP自動解析 VPN・匿名アクセスの検出 自動クリックの除外 リアルタイム不正検知 	<ul style="list-style-type: none"> 年間広告費の5.1%削減（1億円なら510万円の削減） ROI最大5%以上向上 正確なCPA/CPOで意思決定
② 改ざん・フィッシング検知 ブランド保護	<ul style="list-style-type: none"> Webサイト改ざん監視 悪意あるスクリプト検出 なりすましサイト発見 即時アラート通知 	<ul style="list-style-type: none"> 平均被害額3.2億円を回避 初動対応を数日→数時間に短縮 ブランド価値・信頼の保全
③ コンプライアンスチェック 法的リスク回避	<ul style="list-style-type: none"> AI広告表現チェック 景表法違反検出 薬機法違反検出 ステマリスク特定 	<ul style="list-style-type: none"> 課徴金リスク回避（売上の最大4.5%） 法務工数削減で施策高速化 全社統一ガバナンス構築

■プランと導入ステップ

企業規模や目的に応じて選べる3つのプランを用意しており、月額30万円から導入できます。まずは1～3ヶ月の試験運用で効果を確認し、その後の全社展開やサプライチェーンへの拡大へと段階的に進められる、リスクを抑えた導入モデルです。

<p>ベーシックプラン</p> <p>月額：30万円～</p> <p>特定のブランド・プロダクトを担当する事業会社様向け</p> <p>• 広告費の無駄遣いを削減 • 基本的な健全性を可視化</p>	<p>プロプラン</p> <p>月額：60万円～</p> <p>複数のクライアントを抱える広告代理店様、Web制作会社様向け</p> <p>• 広告運用の透明性を保証 • クライアントとの信頼関係の強化</p>	<p>エンタープライズプラン</p> <p>月額：80万円～</p> <p>複数のブランドやグループ会社を統括管理する大手企業様向け</p> <p>• グループ全体のリスクの一元管理を実現 • 経営レベルでのガバナンス体制の構築</p>
---	---	--

導入ステップ



■REGAL CORE 概要

- ・HP : <https://regalcore.co.jp/>
- ・設立 : 2021年4月
- ・代表者 : 田之上 隼人（代表取締役）
- ・住所 : 東京都渋谷区東3-13-11 A-PLACE 恵比寿東9F
- ・事業内容 : コンプライアンスチェック事業

■APRIO TECHNOLOGIES LIMITED 概要

- ・HP : <https://www.aprio.tech/>
- ・設立 : 2023 年 7 月
- ・代表者 : 足立照嘉 (創業者/CEO)
- ・資本金 : 1 億 6000 万円 (2025 年 1 月現在)
- ・住所 : 71-75 Shelton Street, Covent Garden, London, WC2H 9JQ
- ・社員数 : 10 名

英国・欧州の金融セクターはじめとした重要インフラセクターを中心に、事業継続を脅かすサイバーセキュリティリスクの可能性と影響について分析を行う「サイバーリスク・デューデリジェンス」や「サプライチェーン・サイバーリスク管理」「アドバイザリ」を実施。また、AIによる「サイバー予見」の技術開発に取り組んでいる。